

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/9/3
所属学部	文学部
所属学科・専攻	行動科学

## 1. 留学先について

留学先大学名	デブレツェン大学 Universtiy of Debrecen							
留学先所属学部等	Humanity faculty Ethnography Department							
留学期間	出発日	2017/8/31	入学日	2017/9/4	修了日	2018/7/6	帰国日	2018/8/31
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	その他( )					
	通学時間	5分				<input checked="" type="checkbox"/> On campus		
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2 ) 人部屋	その他( )				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	その他( )	
食事	自炊	80 %	学食	0 %	外食	20 %	その他 ( ) %	
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン日本興亜						
	派遣先大学指定の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄ ヘルシンキ-ブダペスト(飛行機) ⇄ デブレツェン(電車)							

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	65~90万 円					
出どころ						
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円
援助	両親	円	<input checked="" type="checkbox"/> 家族・親戚	200,000 円	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	700,000 円	その他名称( )		円	
その他	千葉大学助成金	円	その他( )		円	

### 2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	5,000 円	その他( )	円
留学中	海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	その他( )	

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	0円
住居にかかった費用	360,000HUF ≒ 142,000円
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			200,000	円
海外旅行保険			156,620	円
OSSMA			19,440	円
査証・在留許可証	HUF	8,000	3,155	円
住居	HUF	360,000	142,000	円
食費			120,000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	HUF	8,000	3,155	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0	円
その他 ( 旅行費 )			30,000	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex.正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			有	無	無
1 Literary and Cultural Theory	正規	3	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
2 Hungarian Language Course (beginner level)	正規	4	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
3 Hungarian Ethnography	聴講	0	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
4 Ethnography 2	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	有	無
5 Anthropology 1	正規	3	<input checked="" type="checkbox"/>	有	無
6 Ethnography of Nations of the World 2	正規	3	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
7 Hungarian Language Course (intermediate level)	正規	0	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
8 Anthropology 2	聴講	0	有	<input checked="" type="checkbox"/>	無
9			有		無
10			有		無

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

大学のNeptune Systemを使って登録。テストの日程も同様。ただし、システムにトラブルが多いため、その場合は教員に問い合わせの上、システムセンターに問い合わせる。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

Literary and Cultural Theoryは大教室でスライドを使ったオムニバス形式の授業。American and English Studiesの学科の科目だが履修できた。言語コースは少人数制の授業。他はゼミ形式の授業。

## 3-3. 語学力について

英語での授業は始め聞き取りが難しかったが、慣れてくるとほとんどの内容が分かるようになった。話すことも慣れるまで少し時間がかかった。ハンガリー語は会話のトピックを追うことは可能だが、円滑なコミュニケーションは難しい。

## 3-4. 図書館など学内施設について

図書館は分野によっていくつかある。貸し出しには学生証とは別のUniPassというカードの発行・オンラインでの登録が必要。貸し出し自転車も同じカードに加えて月々の利用料を払えば利用可能だが、自分は使わなかった。メインキャンパスは広く、机と椅子が各所においてあるため自習に使った。

## 3-5. その他

## 4. 生活面

## 4-1. 住居について

メインキャンパスの敷地内にあるKossuth Lajos Kollegiumという大きな寮に滞在した。2人部屋のルームメイトは適当に割り振られる。初めの2週間内は部屋を変更することも可能だが自分はしなかった。キッチン共有で1フロアに1つだが、主に使うのは留学生なので留学生同士のコミュニケーションがよくできた。

## 4-2. 食生活について

基本的に自炊。大きなスーパーマーケットやアジアンショップがあるため特に問題なし。

## 4-3. インターネット環境、携帯電話について

Simカードを購入して電話番号は取得したが、インターネットは大学内、寮内ともにEduroamが充実しているため自分用にはあまり契約しなかった。

## 4-4. 服装について

日本と特に変わらない。ただし冬はかなり寒いため対策が必要。

## 4-5. 健康管理について

風邪を何度か引いたが現地の市販薬を購入して飲んだ。大学内に大学病院があるため保険を利用すれば無料で利用できるという。英語での診察も可能らしい。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用について

一度も使うことはなかった。

## 4-7. 課外活動について

Erasumsの学生団体が毎週のようにイベントを企画(パーティー、インターナショナルディナーなど)するため、留学生同士、現地学生との交流が生まれる。個人的に寮併設のジムに通った。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

何かしらのイベントに参加しない限り特になし。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

変換プラグ。フィールドトリップした際のホームステイのホストへの日本からのお土産。

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

特になし

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

日本よりもコミュニケーションの距離が近い。挨拶のキス、握手。

## 4-12. 余暇の過ごし方

旅行

ドイツ・ベルリン&ポーランド・クラクフ(観光)18年7月(7日間)、約3万円

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

アルコールが安いので飲む。ジムでの運動。

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

キャンパスは広く、緑も豊かで過ごしやすい。特に医学部に留学生が多く、半数ほどが留学生だとか。日本人留学生は医学部に100人くらいいるらしい。留学生はトルコや中東からの留学生と中国・韓国、ヨーロッパの順が多い。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

特に心配しなくてよい。とにかくオープンマインドで。

## 5-3. 留学を終えて

自分の英語力に自信がついた。より自由に生きることの楽しさが分かった。ヨーロッパのつながりのつよさ。よりオープンマインドになった。海外大学院への進学を検討するようになった。